

《平成24年度薩摩川内市事務事業評価表》

1 事務事業の位置付け(Plan)

事務事業名	畜産共進会経費等事業			担当者	別府
所管部課名	農林水産部 畜産課			事業の根拠 (根拠法令)	
事業の種類	☒ ソフト事業	☐ 建設・整備事業	☐ 施設管理	☐ 内部管理	
総合計画上の 位置づけ	施策の 基本方針	政策 (章)	地域力を発揮し産業活力を創出するまちづくり	主要施策 (節)	農業の振興
				施策 (項)	畜産振興対策の推進
予算科目 等	会計	一般会計	款	6 農林水産業費	
	項	2 畜産業費	目	1 畜産総務費	
	事項	畜産振興育成事業費	細事項	畜産振興育成事業費(経常)	

事業の概要

本市の畜産生産基盤の維持強化に努めるとともに家畜改良を推進し、併せて畜産農家の飼養管理技術のレベルアップと所得向上を図るため、本土各地域において畜産共進会を開催する。更に、家畜改良の成果を競う川薩畜産共進会や県畜産共進会、全国和牛能力共進会(5年に1度)への出品者を支援することで本市畜産の振興を図っている。併せて、畜産農家の意向把握とそれに基づく本市の畜産振興方策を検討するなど本市における畜産振興の基礎を成す事業である。

2 事務事業の実施 (Do)

事業の内容	対象 (誰を、何を対象とする事業か)	・市内の畜産農家 ・各種畜産共進会等への家畜の出品者		事業開始年度		平成16年度		
	手段 (市がどのような活動をするか)	・市内各地域畜産共進会の開催 ・各種畜産共進会への家畜の出品者への支援 ・畜産農家への技術研鑽のための研修の場の提供 ・畜産農家等の意向把握と本市における畜産振興方策の検討	活動指標 (市として何をを行うか?)	指標名	市共進会の開催、川薩・県畜産共進会等への出品頭数			
				最終目標値	市:180頭 川薩地区:60頭 県:5頭以上 全国(5年に1度):2頭以上			
				最終年度	無し			
	意図 (どのような目的で事業を行うか)	家畜改良増殖を推進すると共に畜産農家の飼養管理技術のレベルアップと所得向上を図るための本市としての畜産振興方策の検討を行う。	成果指標 (活動をした上で、目標となる成果をどのように設定するか?)	指標名	和牛子牛セリ市平均価格成績			
				最終目標値	全国1位			
			最終年度	無し				
経費及び指標の推移	項目		単位	平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 予算額	平成25年度 見込み	平成26年度 見込み
	事務事業費		千円	921	3,597	4,457	3,800	3,800
	賃金			223	217	199	199	199
	報償費			120	2,714	3,270	2,870	2,870
	旅費			578	581	787	635	635
	消耗品				13	121	16	16
	食糧費				72	80	80	80
	要員配置状況		人	1.6	3.8	3.8	3.8	3.8
	職員			1.2	3.0	3.0	3.0	3.0
	嘱託員			0.4	0.8	0.8	0.8	0.8
	臨時職員等							
	活動指標の推移			口蹄疫発生(宮崎県)のため中止	各地域共進会:171頭 川薩共進会:56頭 県共進会:8頭	各地域共進会:180頭 川薩共進会:60頭 県共進会:5頭以上	各地域共進会:180頭 川薩共進会:60頭 県共進会:5頭以上	各地域共進会:180頭 川薩共進会:60頭 県共進会:5頭以上
	成果指標の推移			口蹄疫発生(宮崎県)のため中止	和牛子牛セリ市平均価格成績は全国3位	和牛子牛セリ市平均価格成績は全国1位	和牛子牛セリ市平均価格成績は全国1位	和牛子牛セリ市平均価格成績は全国1位
財源内訳	事務事業費		千円	921	3,597	4,457	3,800	3,800
	国・県支出金							
	その他							
	一般財源			921	3,597	4,457	3,800	3,800

平成24年度予算額積算根拠

報償費(3,270千円):出品奨励金として本市内開催:1頭当たり5千円、川薩共進会:1頭当たり10千円、県共進会:1頭当たり50千円

賃金(199千円):畜産センター清掃賃金

普通旅費(787千円):各種畜産共進会、枝肉共励会、子牛セリ市、畜産担当者会、畜産事業説明会参加等に係る職員旅費

3 事業の視点別評価 (Check)	
妥当性	対象・手段の妥当性 ☒ 妥当である ☐ 改善の余地はある ☐ 妥当でない (上記選択の理由) 市・地区・県等の各段階における畜産共進会等の開催による家畜の改良推進と飼育管理技術及び所得の向上と併せて畜産農家の意向把握とそれに基づく本市の畜産振興方策を検討するなど本市における畜産振興の基礎を成す事業であることから、当該事業は妥当である。
	市が関与すべき妥当性 ☒ 市で実施すべき ☐ 民間でも可能 ☐ 民間で実施すべき (上記選択の理由) 市内各地域の畜産共進会のうち秋季畜産共進会は市の主催であることやその後の薩摩地区、県等への畜産共進会への出品は本市の代表として出品することから市の関与は妥当である。また、畜産農家の意向把握は、本市における畜産振興策を検討するための基本的な取組であることから市の関与は妥当である。
	事業費の削減余地 ☐ 削減余地がある ☒ 削減余地はない (上記選択の理由) 畜産共進会の開催・支援や本市の畜産振興方策の検討を行うために必要最低限の経費を計上しているので削減の余地はない。
効率性	人件費の削減余地 ☐ 削減余地がある ☒ 削減余地はない (上記選択の理由) 本庁職員(2名)及び支所駐在(4名)がそれぞれの地域における各種畜産共進会に係る業務や農家意向の把握を行っているが、必要最小限の人員体制であることから削減の余地はない。
	成果の達成度 ☐ かなり高い ☒ やや高い ☐ 低い (上記選択の理由) 本市における家畜の改良が進むとともに子牛セリ市場評価が高まることによる農家所得の向上が期待できる。 また、畜産農家の意向を把握しながら畜産振興方策を検討することから、事業効果が高い畜産振興策の検討・展開が可能である。
有効性	成果の向上余地 ☐ かなりある ☒ ある程度ある ☐ ほとんどない (上記選択の理由) 家畜の改良が推進されることで購買者ニーズにあった家畜の生産が可能となり、子牛セリ市場の評価が高まるとともに取引価格(農家所得)の向上につながる。また、農家の意向を把握しながら畜産農家が行政に必要としている畜産振興方策の検討と事業展開が可能となることから、高い事業効果が期待できる。
	4 事業の改革・改善の方向性 (Action)
内部評価(一次)	内部評価結果 今後の改革の方向性 ☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しの上で継続 → 今後の方向性 ☐ 拡大 ☐ 他の事業と統合 ☐ 手段の改善 ☐ 移管 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 上記方向の理由 各種畜産共進会の開催・参加は、家畜の改良推進と農家の飼育管理技術及び所得向上のための研修の場として、行政・農協・畜産農家の三者が一体となって取り組んでいる事業であり、本市農業生産額の約60%を占め本市農業の基幹作物である畜産振興を図るうえで重要な事業である。また、本市における畜産振興策方策の検討を行う際の基本となる農家意向を把握するうえでも重要な事業であることから現状のまま継続したい。
	改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画
	外部評価結果 事業の視点別評価 妥当性 ⇒ ☐ 高い ☐ 低い 効率性 ⇒ ☐ 高い ☐ 低い 有効性 ⇒ ☐ 高い ☐ 低い
	今後の改革の方向性 ☐ 現状のまま継続 ☐ 見直しの上で継続 → 今後の方向 ☐ 拡大 ☐ 他の事業と統合 ☐ 手段の改善 ☐ 移管 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 外部評価結果のまとめ
外部評価(二次)	

主な年間行事(畜産課)

平成24年度

月	日	場所	行事名	主催	備考
4	9	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
	10	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
	16	川内畜産センター	川内地域春季畜産共進会	北さつま農協	
	17	入来畜産センター	入来地域春季畜産共進会	北さつま農協	
	18	祁答院畜産センター	祁答院地域春季畜産共進会	北さつま農協	
	19	樋脇畜産センター	樋脇地域春季畜産共進会	北さつま農協	
	20	東郷畜産センター	東郷地域春季畜産共進会	北さつま農協	
	26	南九州市	JA北さつま枝肉共励会	北さつま農協	
	27	南九州市	郡肉豚枝肉共励会	北さつま農協	
5	2	薩摩中央家畜市場	子牛展示品評会及び職員連絡協議会	北さつま農協	
	15	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
	16	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
	25	薩摩中央家畜市場	薩摩郡春季畜産共進会	北さつま農協	
6	5	薩摩中央家畜市場	子牛展示品評会及び職員連絡協議会	北さつま農協	
	5	薩摩中央家畜市場	川薩地域畜産関係事業説明会	県北薩地域振興局	
	14	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
	15	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
未定		鹿児島市	県畜産協会通常総会	県畜産協会	
7	2	南九州市	産地宣伝販売会	県経済連	
	3	薩摩中央家畜市場	子牛展示品評会及び職員連絡協議会	北さつま農協	
	10	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
	11	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
	26	薩摩中央家畜市場	子牛展示品評会及び職員連絡協議会	北さつま農協	
未定		市内一円	家畜防疫班による巡回指導	市家畜防疫協議会	
8	6	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
	7	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
未定			川薩畜産共進会表彰審査会	北さつま農協	
未定			川薩畜産共進会三者協議会総会	北さつま農協	
未定			薩摩中央家畜市場地区畜産振興会総会	北さつま農協	
	28	薩摩中央家畜市場	子牛展示品評会及び職員連絡協議会	北さつま農協	
	30	始良中央家畜市場	全共予選会	県経済連	
9	3	東郷畜産センター	東郷地域秋季畜産共進会	薩摩川内市	
	4	川内畜産センター	川内地域秋季畜産共進会	薩摩川内市	
	5	入来畜産センター	入来地域秋季畜産共進会	薩摩川内市	
	6	祁答院畜産センター	祁答院地域秋季畜産共進会	薩摩川内市	
	7	樋脇畜産センター	樋脇地域秋季畜産共進会	薩摩川内市	
	10	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
	11	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
		薩摩中央家畜市場	川薩畜産共進会	・薩摩川内市 ・さつま町 ・北さつま農協	
	19			北さつま農協	
	29	始良中央家畜市場	県畜産共進会	県経済連	
10	3	薩摩中央家畜市場	子牛展示品評会及び職員連絡協議会	北さつま農協	
		伊佐家畜市場	県ホルスタイン共進会	県酪農業協同組合	
未定			伊佐・始良・北薩地区予選会		
	11	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
	12	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
25～		長崎県佐世保市	第10回全国和牛能力共進会	(社)全国和牛登録協会	
29				協会	
未定		始良中央家畜市場	県ホルスタイン共進会	県酪農業協同組合	

平成24年度					
月	日	場所	行事名	主催	備考
11	2	薩摩中央家畜市場	子牛展示品評会及び職員連絡協議会	北さつま農協	
	12	南九州市	県肉牛枝肉共進会	県経済連	
	14	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
	15	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
	22	南九州市	郡肉豚枝肉共励会	北さつま農協	
12	9	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
	10	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
	21	薩摩中央家畜市場	子牛展示品評会及び職員連絡協議会	北さつま農協	
1	未定	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
	未定	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
2	未定	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
	未定	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
3	未定	市内一円	家畜防疫班による巡回指導	市家畜防疫協議会	
	未定	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	
	未定	薩摩中央家畜市場	子牛セリ市	北さつま農協	

載揚 いせんまっそ 報 広

Satsuma
sendai
topics 10

川薩畜産共進会で
樋脇地域が団体総合優勝

9月27日、薩摩中央家畜市場(さつま町)で開催された川薩畜産共進会において、父系群の部(樋脇地域の川原畜産・中島和人さん・山路一浩さんが3頭1組により出品)で、グランドチャンピオン賞を受賞しました。樋脇地域は団体総合でも優勝し、2連覇を果たしました。また、県畜産共進会でも最優秀賞3席を受賞し、薩摩地区の団体知事賞の受賞に貢献しました。

(平成23年)

「さつき 22号」

樋脇の牛がチャンピオン
団体でも優勝!!

9月11日(金)の川薩畜産共進会で、樋脇町の前田盛茂さんの牛が最高賞のグランドチャンピオン賞を受賞。団体の部でも樋脇地域が優勝しました。10月9日(金)には市長を表敬訪問し、「長年の努力が実を結び、大変うれしい」と受賞の喜びを語りました。

(平成21年)

平成 23 年 度

薩摩川内市秋季畜産共進会出品名簿

《祁答院地域》

期 日：平成 23 年 8 月 30 日

場 所：祁答院畜産センター

薩 摩 川 内 市

1 日 程	褒 賞 授 与 式 次 第
平成23年 8月30日（火）	1 開会のことば
7:30～ 8:30 家畜搬入・受付	2 優勝旗返還（前回：上手畜産振興会）
8:30～ 8:45 審査委員打合せ	3 市長あいさつ
8:45～11:30 審査 …… 1 区・2 区・父系群 女性部審査競技 郡共決定審査 …… 1 区・2 区 父系群	4 審査講評
11:30～12:00 褒賞授与式	5 成績発表並びに優勝旗授与 （個人賞並びに団体賞）
2 出 品 頭 数 49頭	6 川薩畜産共進会出品者紹介
	7 来賓祝辞
	8 閉会のことば

1 出品資格		2 出品頭数							
種 目	月 齢	地区名	各部頭数	申込頭数 出品頭数	総得点	平均点	出品点	合 計	順 位
若 雌 区 1	12ヶ月以上～16ヶ月齢 (H22. 5月～H22. 9月まで)	黒 木	1 区	12	16				
			2 区	4					
若 雌 区 2	17ヶ月齢～23ヶ月齢 (H21. 10月～H22. 4月まで)	上 手	1 区	9	14				
			2 区	5					
父系群	12ヶ月齢～23ヶ月齢 (H21. 10月～H22. 9月まで)	下 手	1 区	8	8				
			2 区						
成 雌 区	2産以上(本原登録牛)	蘭 牟 田	1 区	7	12				
			2 区	5					
繁 殖 母 系 群	初産月齢28ヶ月未満・分娩間隔400日以内	計	1 区	36	50				
			2 区	14					